

系統連系型PVSの接地方式は、以下の3者に大別される。

- I. 直流回路と交流回路の間が絶縁されており、直流回路が接地されていない（または高抵抗で接地されている）。（図5，中～大規模設備に多い）

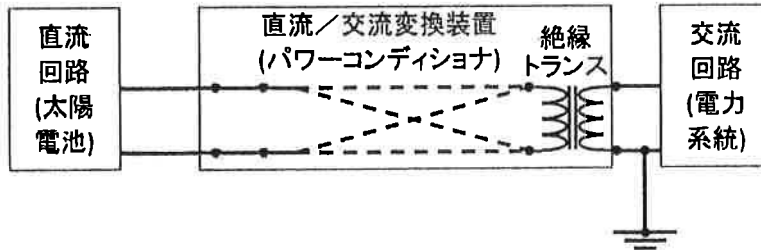


図5 非接地型PVS

- II. 直流回路と交流回路の間が絶縁されており、直流回路が低抵抗で接地されている。（図6，対地電位による発電性能低下（PID）対策として行われる場合がある）

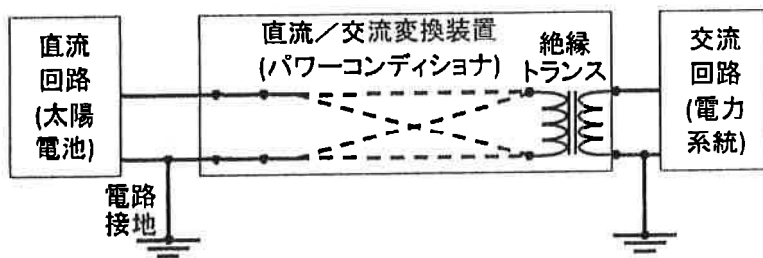


図6 直流接地型PVS

- III. 直流回路と交流回路の間が絶縁されておらず、直流回路が接地されていない。（図7，小規模設備に多い）

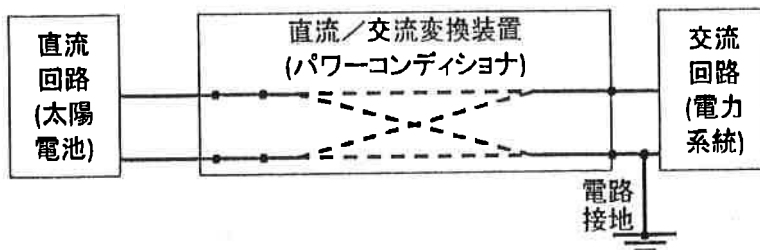


図7 交流接地型PVS